

S S T L

NO. 76 2022. 6. 14

職場参加ニュース

学校、職場、暮らしー迷いながらわが街で一緒に生きる

NPO法人障害者の職場参加をすすめる会 2022 年度総会記念シンポジウム

会 日 時 2022年6月26日(日) 14:00~16:30 (受付 13:30~)

場 越谷市中央市民会館 (〒343-0823 埼玉県越谷市越ヶ谷四丁目1番1号) 5階第4、5、6会議室(ZOOM併用予定)

費 会員500円 非会員700円(資料代)

シンポジウムに先立ち、13:15~13:50 同じ会場で、NPO法人障害者の職場参加をすすめる会の2022年度定期総会を行います。



プログラム

第1部：特別報告 門坂美恵さん(さやまのペンギン村代表、どの子ども地域の公立高校へ埼玉連絡会、障害児を普通学校へ全国連絡会運営委員)

第2部：パネルディスカッション

パネリスト：

門坂美恵さん、門坂豊さん(会社員、38歳)
坂口佳代子さん(地域活動支援センターめだか工房施設長、車いすユーザー)
尾谷英一さん(勝ニューオタニ社長)(ほか調整中)

コメンテーター：

高橋儀平さん(東洋大学名誉教授、文科省学校施設バリアフリー化の調査研究協力者会議部会長等福祉のまちづくりに長年貢献)

コーディネーター：朝日 雅也さん(埼玉県立大学教員)

手話通訳(依頼中) 地下有料駐車場有



主催：NPO法人障害者の職場参加をすすめる会 (代表理事 山崎泰子)
〒343-0023 埼玉県越谷市東越谷 1-1-7 須賀ビル 101 職場参加ビューロー・世一館内
後援：越谷市・春日部市(いずれも依頼中)。
お問い合わせ： Tel&Fax : 048-964-1819 (要9回コール)
e-mail:shokuba@deluxe.ocn.ne.jp

学校、職場、暮らし—迷いな がらわが街で一緒に生きる

NPO法人障害者の職場参加をすすめる会
2022年度総会記念シンポジウム

昨年度の総会記念シンポジウムのテーマは、「どこから越える? コロナ禍でみえた壁」でした。コロナ禍が壁を新たに作ったというわけではなく、それ以前から社会の中でつくられてきた壁が、コロナ禍という状況の下で、浮上してきたことを見据えました。

たとえば、公務・民間を問わず、多くの働く障害者が数合わせのための、いつでも取り換え可能な「不要不急な存在」になっていたことが、彼らが軒並みに自宅待機や時短を命ぜられたことで浮き彫りになりました。また、障害者専用求人に占めるA型事業所の割合が著しく増えていますが、そのことによってかつては障害者雇用の主な受け皿だった中小企業での雇用が圧迫されているのではないかという見方も出ています。膨れ上がる障害者雇用代行ビジネスの存在を見ても、障害者雇用の増加部分は「虚業」によって埋められているのではないかという疑問が湧いてきます。

さて、今年の総会記念シンポジウムでは、初めて、人生と社会が始まるスタート地点として子ども時代に焦点を当てます。そして、学校から職場そして暮らしへと、ライフサイクルに沿って、当事者の体験を語っていただきながら考えていきたいと思えます。

今回パネリストとして登場いただく方々は3組の家族ないし障害のある本人です。この埼玉の狭山、草加、越谷で育ち、地域の小・中学校で共に学んだ後、高校の入試選抜制度の壁に直面し、それぞれの形で高校教育を受けた後、就

職・雇用のさまざまな壁にぶつかり、ひきこもったり、結婚から離婚、会社の閉鎖・縮小など、山あり谷ありの状況を経て、現在に至っています。

子ども時代に障害のない子どもたちと遊んだり、けんかしたり、もまれながら育ちあってきた経験は、本人、家族にとっても、また他の地域の人々にとってもかけがえのない財産です。ただ、その財産を活かすためには、高校進学や職場参加の壁とどう向き合うかが双方に問われています。

一方、ライフサイクルの出発点で障害のある子とない子が分け隔てられた場合、そこから地域のメインストリームとして合流してゆく道にはさらに大きな壁が待っていますが、それを乗り越えて高校や地域の職場へ、そして住まいや介助を確保し共に暮らしている事例も徐々に積み重ねられてきています。

教育、雇用、福祉、生活・・・それぞれに支援制度が拡充されてきたことは頼もしく感じられる半面で、それを取捨選択しつつ、自分流のオリジナルな暮らしをどう組み立てて行けるのでしょうか。自分が他の人々と生きている日常を「わが街」と感じられる場にしてゆくためには、何が問われてきたのか、3組の体験に学びつつ探ってゆきます。

また、それらを踏まえて、これからの諸制度のありかたがどうなってゆくことが望ましいか等についても、あらためて考える機会にできればと思っています。

就学前のお子さんがおられる方々など、これまでのシンポジウムではお会いできなかった方々も含め、さまざまな立場の方々と一緒に考え合える場にしたいと思います。

どうぞおいでください。

特定非営利活動法人障害者の職場参加をすすめる会

第21回定期総会のご案内

日時	2022年6月26日(日) 13:00~13:50	
会場	越谷市中央市民会館5階 第4、5、6会議室	
議題	第1号議案	2021年度事業報告
	第2号議案	2021年度収支決算報告 監査報告
	第3号議案	2022年度事業計画
	第4号議案	2022年度予算案
	第5号議案	役員改選

正会員の方には事前に議案を送付させていただきますので、
予めお読みになっておいで下さるようお願いいたします。ご欠
席の方は、ぜひ委任状の提出をお願いいたします。

2022年度会費、寄付、協力会費を納入いただきました(五十音順、敬称略)

【2022年度会費】

阿久津直人、青木繁明、石田貴美子、大武昭、佐藤恵美子、津崎悦子、野村康晴、前田直哉、松山美幸

【2022年度寄付】

野村康晴、富沢一枝、傳田ひろみ、水谷淳子

【2022年度かきくけプロジェクト】

野村康晴

職場・地域ひろがりっし

●越谷市福田新市長へ提言しました



昨年暮れの「共に働く街を創るつどい2021」の最後に発表した「2021年度共に働く街をめざす自治体提言」を1月31日、越谷市福田新市長に手渡し、各部課担当者も交えて懇談しました。市長からは「働きたい、社会と一緒に生きていきたい」ということは理解した。一歩でも進めていきたい。」という言葉いただきました。

●春日部市岩谷新市長へ提言しました



春日部市の岩谷一広新市長には、2月4日「自治体提言」を手渡し懇談しました。市長からは、20年前障害者たちと岩手に旅行した時、こちら側・あちら側と区別せず、友達のように普通に接することが大切と思ったと言われました。

●水辺の市 2022 年度スタートしました



葛西用水ウッドデッキの「越谷水辺の市」が再開されました。昨年蔓延防止措置等が続き、休みになることもありました。年度初めの出店者会議を行い、新しく出店した顔ぶれなどにも加わってもらい、意欲的な活動に取り組み、いちだんとに

●手話通訳付きですいご松山さん



4月13日のすいごカフェのゲストは、聴覚障害の主婦・松山美幸さん。両親からは障害を認められず子ども時代から家事全般を担われ、長じて職場で働き、結婚子どもたちを育て社会に送り出す。手話との出会いは大人になってから。虐待の連鎖を断ち地域とつながり親の介護も。

●しらこぼと笛絵付け作業やりました

毎週金曜午後の Love Shirakobato プロジェクトでは、4月3回にわたって、新たにしらこぼと笛の絵付けを行いました。原作者で人形師の山崎昭二さんの直接指導の下、障害者作家たちが技をきそいました。この笛は、昨年 Bruitus でも紹介され静かな人気。越谷駅前ガヤちゃんの蔵屋敷をはじめ、市内のお店や県庁内福祉の店アンテナショップかっぱでも扱っています。



●夏の花を植えました(水上公園)



県営しらこぼと水上公園の花壇整備共同作業、5月は満開のパンジー等を連休明けに抜き、プールシーズンへ向けて土を拵え夏の花々を移植しました。5月は共同作業を8回行い、各回5-7施設20-30人が参加。灌水作業は近くの2施設が交代で担っています。

職場参加ビューロー一世一緒

2022.6.1~2022.8.31 カレンダー

(2022年6月3日暫定)

2022年6月		2022年7月		2022年8月	
日中行事	ほか	日中行事	ほか	日中行事	ほか
1日 水	当番会議 せんげん会ミーティング	1日 金	らこぼろプロジェクト	1日 月	水上公園作業
2日 木	たそがれ	2日 土		2日 火	当番会議
3日 金	らこぼろプロジェクト	3日 日		3日 水	せんげん会ミーティング
4日 土		4日 月	互員料除算	4日 木	らこぼろプロジェクト
5日 日		5日 火		5日 金	
6日 月	互員料除算	6日 水	当番会議	6日 土	
7日 火		7日 木	たそがれ	7日 日	
8日 水	すいご(竹迫さん)	8日 金	らこぼろプロジェクト	8日 月	互員料除算
9日 木	せんげん会ミーティング	9日 土		9日 火	緑谷水辺の市
10日 金	らこぼろプロジェクト	10日 日		10日 水	
11日 土	らこぼろプロジェクト	11日 月	共に暮らあうための相談会	11日 木	たそがれ
12日 日	互員料除算	12日 火	互員料除算	12日 金	
13日 月	互員料除算	13日 水	緑谷水辺の市	13日 土	
14日 火	緑谷水辺の市	14日 木	すいご(さん)	14日 日	盆休
15日 水	職場参加を語る会	15日 金	らこぼろプロジェクト	15日 月	
16日 木	Lunch Cafe どういよ(小井戸)	16日 土		16日 火	
17日 金	らこぼろプロジェクト	17日 日		17日 水	職場参加を語る会
18日 土		18日 月		18日 木	たそがれ
19日 日		19日 火		19日 金	らこぼろプロジェクト
20日 月	互員料除算	20日 水	職場参加を語る会	20日 土	
21日 火	互員料除算	21日 木	緑谷水辺の市	21日 日	
22日 水	ピアサポート研究会	22日 金	らこぼろプロジェクト	22日 月	
23日 木	たそがれ	23日 土		23日 火	
24日 金	らこぼろプロジェクト	24日 日		24日 水	ピアサポート研究会
25日 土		25日 月	水上公園作業	25日 木	総合果交差
26日 日	運営委員会	26日 火	互員料除算	26日 金	
27日 月	水上公園作業	27日 水	ピアサポート研究会	27日 土	
28日 火	互員料除算	28日 木	たそがれ	28日 日	
29日 水		29日 金	らこぼろプロジェクト	29日 月	水上公園作業
30日 木		30日 土		30日 火	互員料除算
31日 金		31日 日		31日 水	

のちには、リハビリを兼ねた1~3時間内の屋外のアルバイトです。グループでやるので、初めての方でたそがれは、素焼きの鳩笛の絵付けと、その普及・販売のための研修や営業活動です。は、障害のある人や他の人々が日替わりゲストとなって、暮らしや仕事を語り継ぎます。あなたもどうぞ！

○茶色の字のスケジュールは、主に連携団体の主催行事で、一緒に参加できるものの紹介です。○ほかのスケジュールは、主に小グループでの講座やミーティングです。詳しい内容についてはお問い合わせください。

すいごご FLASH

● 4月6日は橋本克己原画展も開催



「未確認当惑物体の現在」と題して、山下事務局長の通訳介助により、毎週金曜早朝に行っている「克己絵日記」が載っている会報配達などを紹介しました。そうした現在をかつて初めて街に出た当時と対比するために、世一緒の壁全体を利用して「克己原画展」を臨時開催しました。

● 4月20日「熊たちのすむ森を」



この日の竹花弘美さん(熊森協会)も自作の紙芝居を用いてのトークでした。海辺から街、そして里と里山、奥山その彼方に富士山がそびえる絵から、富士山や奥山に降った雨が涵養水となり、里から街そして海を育てている説明。国策のスギやヒノキの植林は根こそぎの洪水の原因ともなるが、照葉樹などを含む自然林が草や苔を含め涵養水を育むこと。

● 5月18日「みんなつながってる」



ゲスト伝田ひろみさんは車イスのさいたま市

1994年8月24日第三種郵便物承認議。幼い頃ポリオにかかり小児麻痺に。入所した施設では、子どもたちが部屋にバリエードを作り、「夜もTVを見る権利」をかちとったそうです。退所後は地域の学校へ。高校進学の時苦労して下さった中学の先生と大人になってバスで再会したので、市議選の後援会長にお願いしたら引き受けていただいた、みんなつながってるんですねと伝田さん。

● 5月25日「働く暮らすつなげる」



かつてすいごごカフェの聴き手として初めて来所された藤元天美さんが、この日はトークゲストに。勤務先のアウトクラウドはただのものではないDM会社。その封入作業をせんげん台「世一緒」で受注。社員は3人で若いSさんは精神科ユーザーという。この3人の日々を含めた「出雲つうしん」も発行し、働く、暮らすネットワークを編み続けておられます。

● 6月1日「わが家のコロナ感染記」



当会代表理事山崎泰子さんは音楽家夫妻と重度障害のかおるさんの3人暮らし。感染に注意してマスクも付けていたかおるさんがある時からマスクを拒否。頭かけマスクも難しくネックウォーマー型で納得。感染が分かり自宅療養に入ると保健所から毎日メールが入りデータ入力する日々。そんな中、車ですぐ行ける自然溢れた場所を開拓しあちこち出かけた。料理も念を入れた。数字で語られるコロナでなく暮らしの中のコロナが見えた。

すいごごカフェ応援を!

かきくけプロジェクト:
年4000円で年誌、ニュースをお送りします。





1. 「つどい」の感想を自由にお書きください。

- ・志木の基幹について。ファイナンシャルプランナーを置くのであれば、世一緒様におかれましても誰でもとれるのでFP技能士3級講座を作してほしい。あと、初任者研修も法人として外かく？団体からとれる様な努力をしてほしい。
- ・今回のテーマ、「地域共生社会」という、とても難しい内容と始めは思っていたのですが、今回聞いていて、自分のみじかなことなんだと思いました。大変、勉強になりました。
- ・地域共生社会という大変難しい社会の課題に多くの方が真剣に取り組んでいる事に感銘を受けました。特に、吉田久美子さんがパタパタの施設長になるまでの話と、これまでの経歴は大変興味深いものがありました。これからも頑張ってください。
- ・パネリストの皆さんが中堅の年齢層で、ご自身の立ち位置を踏まえて発表されていることに感じ入りました。それぞれの方が別々の地域で違った方法で“共に働く”に携わっておられること、多様

な条件の地域、多様な人々とのつきあいの中での実践と思い、参考になりました。朝日先生の重層的相談、共に生き合うは、どこの地にも通じると思いました。法律があるからかかえこまれるのではなく、共に思いやる職場が大切と思いました。

- ・八王子ワークセンターの手広さなのか、八王子市の各団体等の結束の凄さなのか、幅広いメニュー(活動内容)に驚かされました。竹内善太さんの付けられた軌跡を走られてる方々も凄いけれど、負けずに次は就労の関係に取り組みたいとおっしゃられてる竹内さんの凄さ敬服致しました!!久美長(ニックネーム)がこの次話す時にも、施設長の肩書きでありますように!!幅広いユニークな三人で楽しめました。
- ・障害を持たれている方々が、主体的に行事に参加していらっしやると感じました。自立を目指していらっしやるのだらうと、とても応援させて頂きたい気持ちになりました。

2. 質問したかったことなどありましたら、お書きください。

- ・八王子ワークセンターで、かてかての営業マンは障がい者なのか否かを質問したかった。

・毎年、準備が大変だということが想像でき
⑥ す。スタッフの皆様お疲れ様でございました。あ
りがとうございました。次回も楽しみにしており
ます。

・障害者職業支援の現状、街の企業・事業所での就
労の現状、職業リハビリテーションセンターから
の情報、を知りたいと思います。

・定期的に行事を行っていらっしゃるのか？また、
応援させて頂くには、どのような手段があるの
か？など、思いました。

3. 当会の活動に関することやその他のご意見等 をどうぞ。

・上記にも書きましたが、達人を目指せる就労移行
施設を作ってほしい。障害者が働く事が地域共生
社会になると思っています。また、発言者としてすい
ごごに呼んで下さい。お願いします。今年一年あ
りがとうございました。来年も宜しくお願い致し
ます。

・障害者の入所施設について、地域共生社会を目指
していく中でのあり方や今後の考え方などを取り
上げることがありましたら、いずれまたこの場で
ご発表いただきたいと思えます。色々な団体や個
人に伺いたい話なのです。

・わらじの会との最初の出会いは、上福岡への移
動の催しに、所沢からのこの子と小学生の知
的障害の娘を連れて行った時でした。お昼の
食事時に、大勢の人達が食事の手伝いをし
て、スプーンで食べている、おやおやと思い
ました。でもにぎやかでした。娘は普通学級
に通い、私は「一緒になければはじまらな
い」と思っていました。その後、「知的障害者
の就労と社会参加」という武田幸治さん、手
塚直樹さんの本を新聞広告で見て、読みまし
た。今も学校と就労と生活は地続きのテーマ
です。障害者の職場参加をすすめる会のつど
いや総会に出席させていただき、その都度感
じるがありました。

まずスタッフさんの発言があること。そしてお
膳立ての整ったシンポジウム、雇用主さん、朝日
先生、障害者就労事業所さん、行政担当者さん、
そして聴衆の市民の皆さん、職場参加ニュース
で、労働者協同組合法を知りました。種にして、
花開かせたいです。一助となればと思います。

・何を求めていらっしゃるのか、こちらとしては、
何をさせて頂けたらお役に立てるのかと思いな
がら聞いていました。あと、役所の方がいらっし
やっていますが、あまりストレートに批判されな
い方がいいと思いました。円満な人間関係構築の
ため(笑)。

⑧



世一緒スタッフ日記

11月

少しずつ前へ

石丸 洋介

私、石丸洋介は、千間台「世一緒」へ通所し早2年4カ月経ち、今迄は知り合い看病や体調管理が全く出来ず週2〜3日しか通所できずにいましたが最近、母親の手伝いをしながら週4日位来ることが出来る様になれて工賃も前より多くもらえる様になりました。後以前はNOと言えませんが今ははっきりと言えることが出来る様になりました。今、色々作業が増えましたが自分のスキルを活用し自分の分という物を全うしてるとかと思えます。

ある一日の思い出

菅野 秀義

2月2日こしがやのおかもとびじねすホテルでとまりました。なんかいもおふるにはいりませんでした。きれいにボディーソープであらいました。そしてせぶんいれぶにパンおかいにいきました。リンスとシャンプーであらいました。

1月わゆるちゃんとはたけしごとに行きました。そしてテレサでとぶどぶつこえにいきました。いろんなどぶつがいしました。

「好き」を活かして働く

大野 言弥

電話が大好きです。私は週2回キッチンとまとで電話番号の仕事をしています。勤務時間はAM8時30分〜10時までです。キッチンとまとは弁当製造屋さんです。お仕事頑張っています。キッチンとまとがない日や終わった後は家にいたり世一緒にいったりしています。世一緒では電話番号や店番などをしています。世一緒は楽しいです。

ヤマトでの仕事

匿名

ヤマトに仕事が始まって仕事を始めてから一年三カ月たち今までは仕事がとてもたのしいです。これからはクビにならないようにがんばります。

大好きな愛犬

森住

私は今年の1月24日朝、愛犬(チョコ)が、15年5ヶ月で天国にたびたちました。だんだんとよわっていくすがたをまのあたりにしていたので亡くなった日はそこまで号泣しませんでした。2年前ぐらい前からすりものむようになり病院の先生にいえにきてもらうことがふえていました。でも私にとってチョコは、かけがえがなく私の長い話をきいてくれていたし私が泣いた時は手をへろへろしてくれました。今度は、かたちをかえてそばにいてくれるので私もしゅうろうにむけて力を入れてとりくんでいきたいと思っています。チョコありがとう大好きだよ。

最近のピカイチ

こまちちゃん

体重が増えた。友達がたくさん増えた。

新しい仕事と出会い

伊藤 峰子

ご老人が野菜をたくさん買ってくれたけど、持てなかつた為、私とその老人の家のエレベーターまで持ってきました。宅配サービスもヒマな時は、やってもいいなと思います。

2021年8月からダンボールを外にもっていくしごとをしています。なにをどこにおいていいかわからなくなつて人にきいたり中の仕事の人がつかつているかごを外に運ぶ仕事をやらせてもらっています。わからない事があつても人に聞けるようになりました。そうじもやりながら新しい仕事をしていくから大変。2020年7月に弟と碧さんの所に赤ちゃんが来ておばちゃんになつちやつた事私にめいっ子が出来てとてもうれしいです。他の人にどうしたの？と聞かれてせいそうしてると私が女のあらいさんに言ってます。不さ人がいなくても私1人でやる事が出来るから大丈夫。



世一緒スタツフ日記



世一緒では、障害や病気その他の状況による働きづらさを、他の人々と共有し生きるためにして生きるために、世一緒に関わっている人々を「スタツフ」と呼んでいます。サポーター(非常勤やボランティア)の支えを受けて、世一緒の当番(ピアサポート実習)や「語る会」、身近な地域で必要とされる仕事(花壇整備、除草、ポスティング)のグループワーク等もしています。元スタツフ等からの近況報告も紹介します。その後んげん台に就労移行支援・就労継続支援B型多機能事業所「世一緒」が開所しました。こちらは制度により定められた職員がおり支援サービスを提供する場となっています。当会は定められた支援ももちろん、自主事業の世一緒越谷と連携して、多様な就労やピアサポートを支援し地域で共に生きる輪を拡げてゆきます。

自分とつきあいながら

月光

私は今、就労継続支援B型事業所へ通所中です。火曜日、金曜日の午後通所しています。包装、梱包を担当していて、入所から4年4か月たちました。この先どこまで通所するかは、自分もわからず、自分自身と付き合いながら、通所するつもりです。

27ねんがんばってます

伊原 尚子

私はきよねんの12月ぐらいいからたいちようをくずして仕事をやすんでいました。8月ぐらいからふつきしました。今はたいちようもよくなったので、仕事がんばっています。しょくりようしんの仕事青果さんで品出しをしたりせんどチェックがいちばんたいへんです。

それでも27年がんばっています。ことしもあと1年しかありません。これから2月か3月ぐらいからさむくなると思いますので、

自分の身を守ること

水島 茂治

現在自分の病気は東京医科歯科で検査通院しています。先日一月二十九日CT検査、二月二日精神内科についてはくすりでイライラを押さえています。これは三カ月一度、消化器内科で問診を受けています。ちよつとつらいけど自分の為になんぼつています。じんぞうとかんぞう、血えきはせいじょうです。

健診会クリニックは、平成18年から通院しています。内容は心臓とひふ科です。自分に言えることは自分の身は自分で守りましょう。

大変だけど達成感が

H・K

私は順天堂デイケア↓作業所↓障害者雇用で今の職場について10年目になりました。紆余曲折がありました。今まで仕事を続けられていたことに今まで支えてもらったスタッフやメンバーに感謝の気持ちで

一人よがりの考えを直しては修正していくということを繰り返しています。今の職場は、主に洗たくの仕事で体力的にきつい所もありますが、スタッフ他メンバーと共に上手くやれている気がします。

今はコロナの影響で短縮時間ということもあり早く上がれる今頃です。出勤するときは、大変だなあと思うことが多いですが、終わった後はよくやったなあと達成感と今日は一日頑張ったなあと楽しくも感じています。

この仕事が続けられるようにこれからも努力精進していきたいと思えます。まだ49才ですからこれからですよ?

オミクロンとしらこぼと

樋上 秀

昨年のくれニュースでしらこぼとがぜつめつすんぜんとほうどうしていました。その時コロナのオミクロンかぶはかくだいのきざしを見せていました。しらこぼともがいらいしゅで昔はおおく越谷にもいたはずですが

老人施設の仕事をめざし

美 柔

ばとともオミクロンともきようぞんしていける人間せかいしやかいであつてほしいものです。そんなきようぞんしていける新しい2022年になつてもらいたいと思っています。

私は「世一緒」に12月13日から利用者になり就労を目指しています。介護に携わる仕事をしたかったので世一緒の職員の方の紹介で老人施設に1月11日から実習が始まり、私の休みは、火曜日と金曜日が休みで、でも2日間しかしていません。足が痛くなり実習が中断して足が大分よくなり老人施設に電話をしたらコロナが出たので実習の受け入れが未定になり連絡待ちになりました。今は「世一緒」で就労を目指して色々な経験をさせていただいてます。

ソフトボール練習はじま

佐藤 俊郎

ソフトボールの練習が始まりました。朝の7時から9時まで練習が終了します。

NPO法人障害者の職場参加をすすめる

